

# 2011年度 風の会 報告書

風の会

風の会 代表  
水谷 勝

## 1.開催に際して

「風の会」は竜洋コースでのユーザーイベントの走行会において、水谷と一緒に遊びに来ていた車椅子の青年を乗せてあげた出来事が発足の原点となります。

この青年は足が動かないにも関わらず、コーナーを曲る度に足を締め付ける動きが伝わってきて、バイクがリハビリに役立つかも知れない。この感動を他のライダーと共有したいと考え発足しました。

お陰様で今年で10回目となりました。この風の会の取り組みを通して、バイクのイメージアップと共に、高校生のボランティアを使う事によって、若年層にもバイクに触れてもらい興味をもってもらう事を目的とし、その効果も現れております。

2010年の年末には、メーテレ（名古屋テレビ）様にて、水谷のドキュメンタリー番組の放映をして頂き「風の会」を知って頂ける良い機会となりました。

今後も「風の会」はバイクのイメージアップと、若年層への訴求、そしてOBライダーを中心とした団塊の世代へのバイク回帰の機会となるよう、盛り上げていきたいと思っております。

## はじめに

皆様のご支援、ご協力のお陰で、「風の会」の活動も10年目を迎える事ができました。ひとりの身障者との何気ないタンDEM走行からバイクという乗り物が、ライダーと身障者共に感動を味わう事ができる素晴らしい乗り物という事を理解してもらいたい。感動の輪を広げたいという思いで長年間続ける事ができました。また、この「風の会」を通じて若者にバイクに触れあう機会を与え、感動を感じてもらい、バイクを「興味のある乗り物」という意識まで高めたいと考え、特に高校生をターゲットとして「風の会」での高校生ボランティアの採用および、8耐のクルーとしての参加、そして高校の文化祭における「スクーター乗り方教室」の実施を行っております。

そのような訳で、水谷は「風の会」のボランティアで参加頂いた高校生にバイクを通じての身障者の触れ合いで感動してもらい、8耐でのレースのチーム員を代表が参加することにより、参加していない生徒も同じ達成感と感動を体験してもらえる場を提供しております。

本年は特に、大震災が3月に起こるなど、経済や国民の暮らしに大打撃を受けた中で、協賛企業様、この為だけのために参加頂いているOBの方々、ボランティアの高校生、ボーイスカウトのメンバーをはじめ多くの方のお陰で無事開催する事ができました。

ご協力、誠にありがとうございました。

今年も、身障者の方、ボランティアの方、皆が笑顔で感動を共有できました。

## 2.開催概要

日時：2011年7月30日（土） PM4:00～ イベント開始

場所：鈴鹿サーキット 西コース下 駐車場

参加人数：身障者 30名、ライダー35名、ボランティア150名強

ボランティア内訳：MIIRスタッフ、弥富高校(約30名)、愛知・三重ボーイスカウト(約15名)、  
JC日本ライダーズクラブ、オーナーズクラブ（刀会、RFオーナーズクラブ、  
320km/hクラブなど）、竜洋スタッフ、ROSSO、その他

主な協賛団体：株式会社モビリティランド、NMCA日本二輪車協会、スズキ株式会社、  
スズキ自販三重、スズキ自販東海、JC日本ライダーズクラブ、株式会社カドヤ、  
株式会社エナジック、MFJ、南海部品、株式会社スズキビジネス、  
ペアライドプランニング&デザイン、株式会社日田天領水

バイク貸出し：株式会社ホンダモーターサイクルジャパン、ヤマハ発動機販売株式会社、  
株式会社スズキ二輪、株式会社カワサキモーターズジャパン、  
有限会社ササキ・スポーツ・クラブ

参加ライダー：水谷勝、稲垣誠、井上哲悟、猪股延晃、上田昇、大塚茂春、大西敬紀、奥田貴哉、  
尾熊洋一、片山信二、河崎裕之、岸田尊陽、北川圭一、國松俊樹、佐藤文彦、  
三味俊也、新庄雅浩、高橋博、辻本聡、徳野政樹、中村賢詞、行方知基、  
西島修、根本健、林正大、東村伊佐三、尾藤哲也、樋渡治、深見貴広、  
村長克昭、八代俊二、山本隆義、吉田忠幸、箕田貴司 等（順不同）

## 3. イベント内容

16時よりイベントがスタートしました。

本年は女優 夏樹陽子さんからご挨拶を頂く事が出来ました。水谷の開会のご挨拶の後、弥富高校の有志による演舞の披露となりました。身障者の方に拍子木を楽しんで頂き、身障者の方も参加して頂きました。若いエネルギーに会場から惜しみない拍手が湧きました。

続いてTRIAL eXchange 風の会W1チームによる、スクーターを使ったエクストリムショーを披露。

笑いとおどろきの歓声に、会場は盛り上がっていきます。



## 4. 「風を感じて…」

本年は、鈴鹿サーキット様のご配慮で2周廻る事ができました。なお、本年はスペシャルステージが雨のために進行の送れと方式変更により、いつも参加頂いているライダーの到着が遅れてしまい、一部のライダーはお見送りとなりました。



## 風の会 開催報告書

今年は、待機中に雨が降ったお陰で、例年より身障者の方の負担が少なく良かったです。時間内であれば、2周廻っても良いと言う事で、時間通りになんとか装具の装着が終わり、5時30分にコースイン。最終チェックを行いスタートしました。サーキットの風も例年より涼しく、皆さん楽しげに観客に手を振る方も多くいらっしゃいました。

コースから、元の場所へ戻ってくると、ボランティア、でお出迎え。ヘルメットを外してもらった身障者の方々の笑みに、ライダーもボランティアも感動を覚えました。

